

地球惑星科学委員会地球惑星科学社会貢献分科会
(第25期・第3回)
議事要旨

1. 日時 令和3年12月25日(土) 10:00~12:00

2. 会場 遠隔会議(主催会場:東京大学)

出席者 佐竹健治・田近英一・春山成子・大久保修平・川口慎介(早退)・木村学・佐々木晶・佐藤薰・鈴木康弘・高橋桂子・張頸(早退)・佃栄吉・中村尚・新野宏・氷見山幸夫・藤井良一・益田晴恵・薮田ひかる・山岡耕春・渡部潤一

欠席者 西山忠男・谷口真人

3. 議題

(1) 日本学術会議の「提言」等の見直しについて(総会の報告)

佐竹委員長から、総会での「科学的助言機能・「提言」等の在り方の見直しについて」の審議に関する承認の報告と内容の詳細な説明があった。

活発な議論がなされた。その結果、本委員会が扱っている個別の案件などでも、さらに議論を深めていくこと、大事な意見は執行部へも伝えると同時に、来週の地球惑星科学委員会でも議論することでまとめられた。

(2) 「放射性物質の移動拡散予測と国民の安全・安心」について

高橋委員から、準備している提言に関する説明がなされ、その後に活発な議論を行った。その意見を明示的に取り入れて提言の執筆を進めること、また、提言の発出先である原子力規制庁と、提言に関する学術会議の対応を進めるために科学的助言等対応委員会に早めに連絡を取ることの2点が確認された。

(3) 「国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」について

佐竹委員長より、第25期IRDR分科会・小委員会合同委員会からの報告に関する説明があった。合同委員会から、ハザードに関しては、この委員会からのインプットが欲しいと言われている。議論のうち、興味のある委員は参加して欲しい旨の依頼があり、参加希望者は、佐竹委員長に直接相談することとした。

(4) その他

来週火曜日(12月28日)に地球惑星科学委員会がある。

4. 配布資料

資料1: 科学的助言機能・「提言」等の在り方の見直しについて(案)

資料2: 提言(案)(仮) 国民の安全を確保する放射性物質の移動拡散問題の解決にむけて

資料3-1: 第25期IRDR分科会活動案

資料3-2: IRDR分科会資料 21世紀前半に発生が確実視される国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方